

大正大学地域構想研究所
2024自治体防災・減災ワークショップ(第1回)

あなたは大丈夫？ 災害時のトイレ

3時間以内に38.5%

発災時には38.5%の人が3時間以内にトイレに行くという調査結果があります。

多くの人が集まる避難所では、トイレの確保や衛生管理が大きな問題になります。

豊富な知見を持つ講師と議論しながら考えてみませんか！

講師

大正大学地域創生学部 教授

岡山 朋子

日時 2024年 **10/10(木)** 13:00~15:00

方式 **オンライン (Zoom)** ※参加無料、事前申込制

(自治体職員以外も申込可)

・Zoom情報は9月末ごろにメールでお知らせいたします。

第1部：講義

- 能登半島地震など被災地でのトイレ事情
- 災害時のトイレ対策の重要性
- トイレ対策のポイント



(日本トイレ研究所リーフレットから)

第2部：情報交換・質疑

- 情報交換：参加者の皆さんのトイレ対策
※申込時にアンケートにお答えください
- 質疑応答：講師との質疑応答

講師紹介

おかえりやさいプロジェクト・プロジェクトリーダー、環境省大規模災害時廃棄物対策関東ブロック協議会有識者委員、東京都廃棄物審議会委員、千葉県環境影響評価委員会委員、愛知県地域循環圏モデル事業《地産地消の推進と一体となった食品循環ループ》アドバイザー、豊島区建築等適正管理審議委員会委員、豊島区環境審議会委員、小金井市廃棄物減量等推進審議会会長ほか、現在20を超える行政の委員を務めている。

申込は右記から→

URL:<https://forms.gle/uGdg3Tjz1PwgMkXX8>

<https://chikouken.org/>

検索

